

# 宜野湾市の取組みについて

令和8年2月17日

宜野湾市 建設部 都市計画課

# 1. 宜野湾市の概要

**人口**  
100,452人

**人口密度**  
5,073人/km<sup>2</sup> (基地面積を除くと7,185人/km<sup>2</sup>)

**面積**  
約19.8km<sup>2</sup> (本市面積の約29.4%が米軍施設、普天間飛行場は約24%)

※人口、人口密度は2025年1月現在



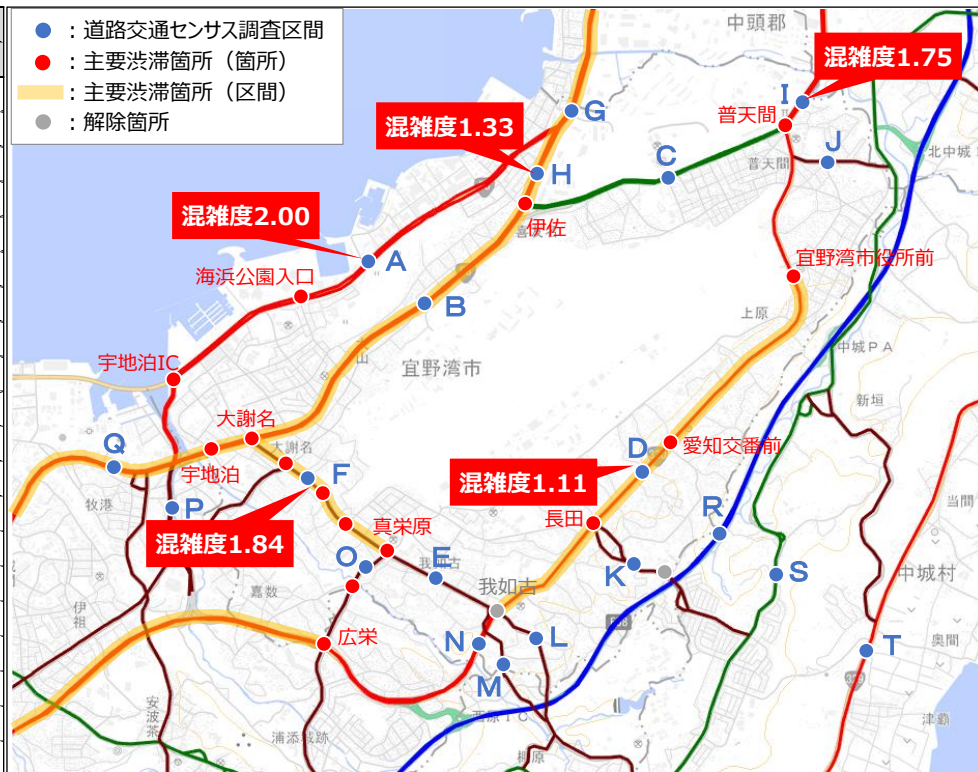
# 2. 宜野湾市の交通課題

## (1) 渋滞

- ✓ 普天間飛行場を避けるように道路網が形成されており、南北の通過交通と市内交通が重複、東西間の移動需要も高い
  - ➡ 慢性的な交通渋滞が発生
- ✓ 交通渋滞は、路線バスの定時性・速達性の低下やタクシーの迎車遅れにつながっている
  - ➡ 交通渋滞 → 路線バスの定時性・速達性低下 → 自家用車利用・送迎交通の増加 → さらなる交通渋滞

単位：百台/12h、百台/24h

区間	12時間交通量(*印は推定値)			24時間交通量(*印は推定値)			混雑度	
	H27	R03	R03/H27	H27	R03	R03/H27	H27	R03
A	217 *	317	1.5	297 *	508	1.7	1.52	2.00
B	435 *	425	1.0	579 *	575	1.0	2.15	1.33
C	216	233	1.1	307	311	1.0	0.79	0.74
D	260	259 *	1.0	377 *	344 *	0.9	1.46	1.11
E	144	159	1.1	193 *	204 *	1.1	0.60	0.69
F	189	197	1.0	275	274	1.0	1.65	1.84
G	474 *	486	1.0	630 *	656 *	1.0	1.27	1.21
H	435 *	425	1.0	579 *	575	1.0	2.15	1.33
I	352	351	1.0	471 *	467 *	1.0	2.01	1.75
J	56	55	1.0	71 *	69 *	1.0	0.68	0.61
K	102 *	105 *	1.0	135 *	134 *	1.0	1.16	1.19
L	117 *	127 *	1.1	155 *	162 *	1.0	1.13	1.18
M	91 *	94 *	1.0	120 *	121 *	1.0	1.15	1.19
N	319	249 *	0.8	463 *	332 *	0.7	1.24	1.13
O	178	159	0.9	238 *	206 *	0.9	0.64	0.71
P	250	285	1.1	324	329	1.0	0.59	0.52
Q	481 *	425 *	0.9	722 *	573 *	0.8	1.35	1.28
R	475	445	0.9	600	545	0.9	1.10	1.04
S	166	170 *	1.0	222 *	219 *	1.0	1.05	1.36
T	218	247	1.1	292 *	328 *	1.1	1.24	1.37



資料：道路交通センサ、沖縄地方渋滞対策推進協議会

# 2. 宜野湾市の交通課題

## (2) 公共交通(路線バス)

- ✓ 本市の骨格を形成する国道、県道を中心に、高頻度・多方面に運行されており、路線バスが充実
- ✓ 広域路線は平日500本以上運行(図A~D)

### 【市民の皆さまの声】

時刻表通りにバスが来ない / バス停まで遠い / バスの本数を増やしてほしい  
 バス停までの歩きづらい(暗い) / 日よけ(上屋)などバス待ち環境の改善

#### ①中南部都市圏を南北に貫く広域路線

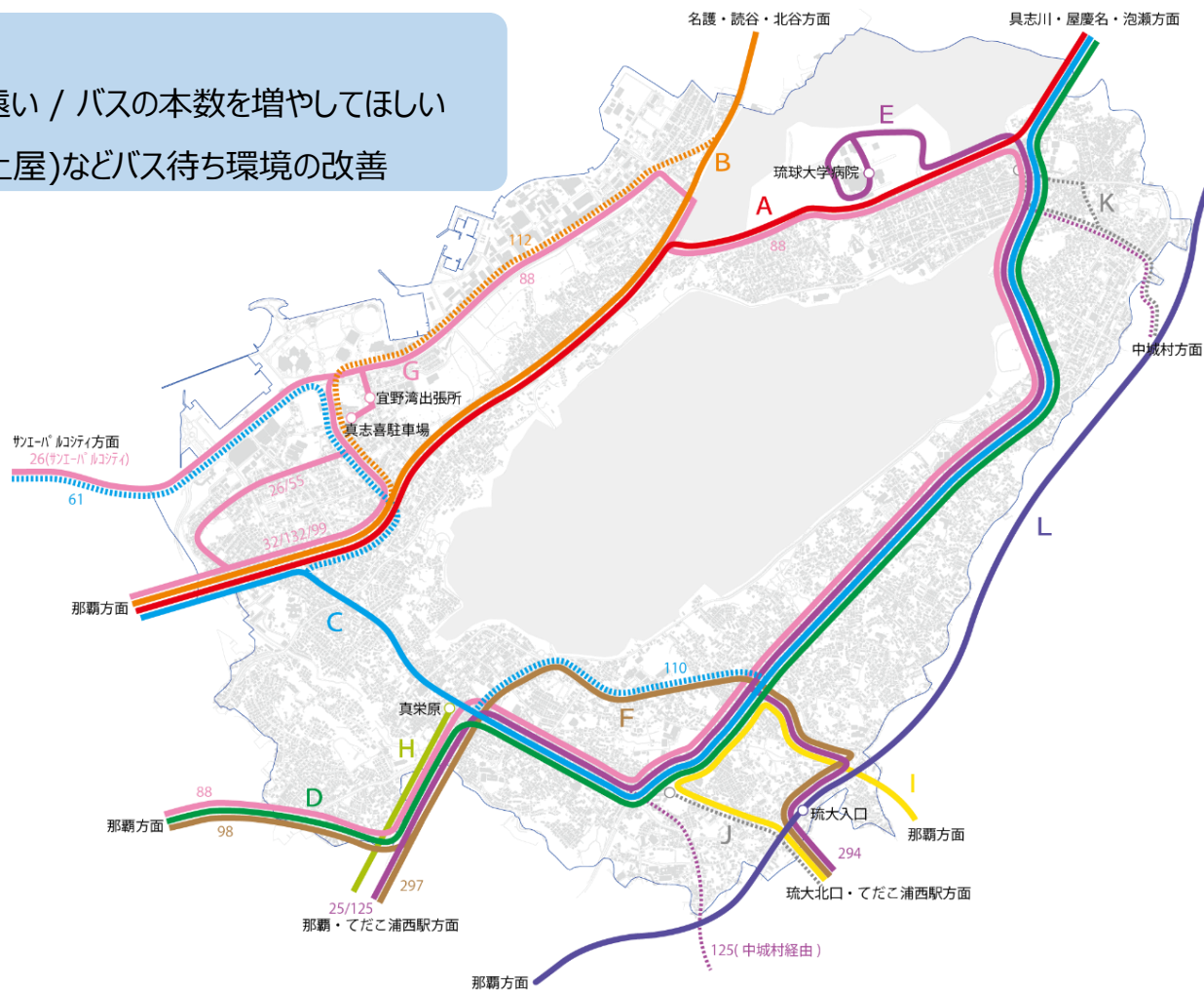
- A 基幹バスルート
- B 名護・読谷・北谷ルート
- C 大謝名ルート
- D 国道330号ルート

#### ②宜野湾市・周辺市町村を起終点とする地域路線

- E 琉大病院方面
- F 冲国大・琉大方面
- G 真志喜方面
- H 56番線
- I 97番線
- ..... J 護佐丸バス(久場琉大線)
- ..... K 護佐丸バス(伊集久場線 他)

#### ③沖縄自動車道を経由する広域高速路線

- L 高速バス(琉大入口)



# 2. 宜野湾市の交通課題

【参考】 宜野湾市役所ワークショップでの主な声 ※令和7年度沖縄県県民参加型地域公共交通検討事業

## 宜野湾市ワークショップ

日時	①2025年12月8日（月） 14:00～16:00
場所	宜野湾市上下水道局二階会議室
参加者	宜野湾市役所職員 約20名
WS構成	日常生活での移動・交通に関して ① 何が問題か？困っていることは何か？ ② ①に対してどんな移動や交通が助かるか ③ ②に対して誰のどんなアクションが必要か？

### 実施写真



※写真はプライバシーに配慮して鮮明度を加工して記載

## 日常の移動・交通で困っていること

### 道路混雑に関して

- ① 朝夕は通学や帰宅時間が重なり渋滞が激しい
- ② 朝弁当屋前の路駐、ドライブスルーの渋滞影響
- ③ 高速料金所の渋滞で下道まで影響
- ④ 国道330号は中央分離帯がなく右折車で渋滞発生
- ⑤ 右折レーンの長さが足りてない、本線まではみ出す
- ⑥ バス停でバス停留スペースがなく、停車するだけで渋滞
- ⑦ 車が多いため事故も多い、そのため渋滞も多い
- ⑧ 早く帰宅したいけど帰宅時間が混雑（宜野湾→那覇）
- ⑨ 雨の日、送迎の車でより渋滞がひどくなる

### 公共交通に関して

- ① 自宅からバス停が遠い、本数が少なく利用は厳しい
- ② バス停までの道のりが暗い、でこぼこして歩きづらい
- ③ 早朝講座に間に合うバスがない
- ④ てだこ浦西駅から宜野湾市方面のバスが少なくて不便
- ⑤ 塾が終わったらバスがない、飲み会後も最終が早くバスがない
- ⑥ バスの時間がずれるので乗り継ぎでは出勤できない
- ⑦ バス停に列を作る指定箇所を設けてほしい
- ⑧ バスを利用して遅れてくるので大変！！、モノレールが必要

### 日常への影響

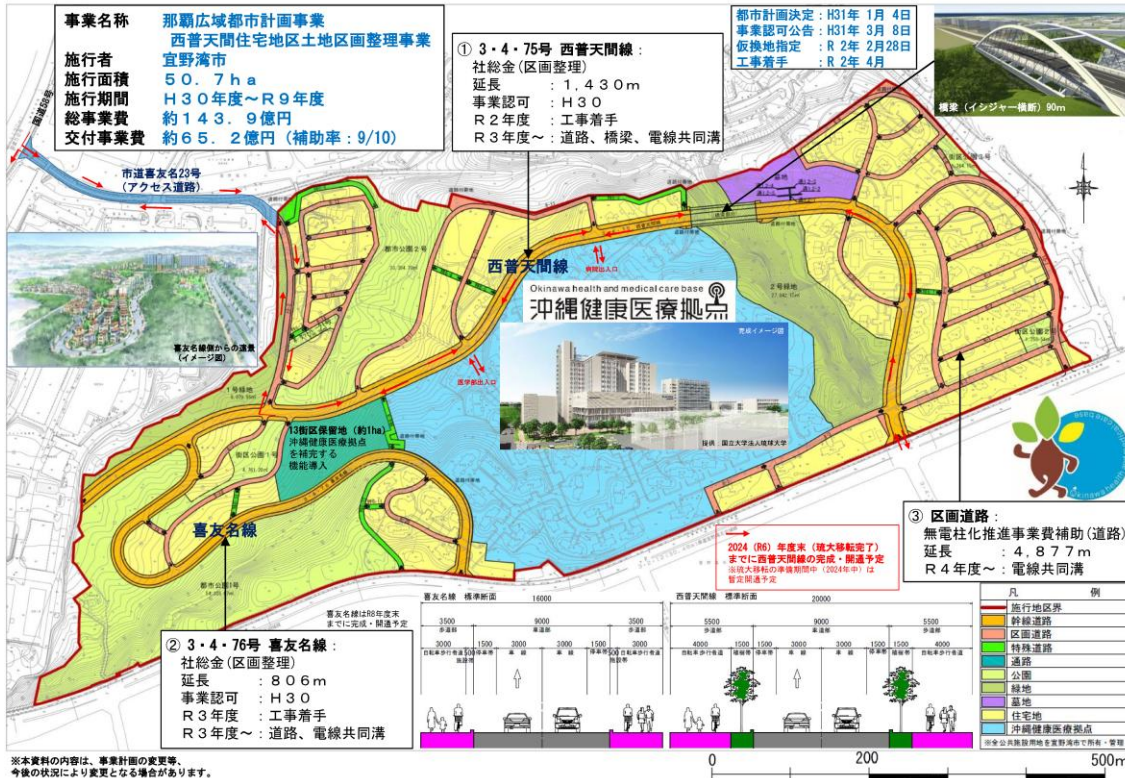
- ① 遅出出勤を活用しているが、帰宅時の混雑状況は変わらないため、子供の迎えに遅れることもしばしば
- ② 渋滞による時間取られて買い物や家事の時間がない...
- ③ 必ず渋滞するので早起きしないといけない
- ④ 家到着が遅れると寝る時間も遅くなる
- ⑤ 雨の日は晴れの日より行動を早くしないといけない
- ⑥ 渋滞状況が日で変わるため、出勤ルートも変わってしまう

# 3. 宜野湾市の取組みについて

## (1) 西普天間住宅地区開発に伴う交通対策

- ✓ 『キャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区跡地』(以下、「西普天間住宅地区」という。)はH27.3に返還された駐留軍用地跡地。基地跡地利用の先行モデル地区として、沖縄健康医療拠点を核としたまちづくりを推進中。
- ✓ 琉球大学医学部及び同大学病院が整備完了し、同病院が令和7年1月に開院、医学部が令和7年4月に開学。
- ✓ 西普天間住宅地区開発に伴う交通対策について調整し、その進捗を確認することを目的として琉球大学、沖縄県、本市による『**西普天間交通対策WT**』を設置(R4年度)。

### 那覇広域都市計画事業 西普天間住宅地区土地整理事業



### 3. 宜野湾市の取組みについて

【遅出勤務】『西普天間住宅地区開発に伴う交通対策』 → R7.1月より遅出勤務を試行運用

#### 目的

市の行政サービスを維持しつつ、渋滞緩和対策を行うための方法として  
「**琉大医学部開学等に伴う交通渋滞緩和のために行う遅出勤務**」を試行運用(R7.1～)

#### 勤務時間

①午前9時00分から午後5時45分    ②午前9時30分から午後6時15分  
※交通シミュレーションにおいて、午前8時～8時30分までの間が影響が大きいとの試算を踏まえ設定

#### 対象者

正職員 ※本庁舎及び第二庁舎(上下水道局、教育委員会、消防本署)勤務の職員

#### 勤務体制

遅出勤務は1週間を通して取り組むことを基本とするが、柔軟に取り組めるよう、所属長が認める場合に限り、1週間のうち遅出勤務を1～4回とすることができる

#### 実施状況

101人(9:00出勤→68人、9:30出勤→33人、**対象職員のうち17.6%が実施**)  
※R7.1月からR7.10月末までに1日以上、渋滞緩和に伴う遅出勤務を実施した職員の人数

【早出勤務】『沖縄交通リ・デザインに向けた通勤行動変容の実証』 → R7.12月より早出勤務導入

#### 勤務時間

【遅出】 ①午前9時00分から午後5時45分    ②午前9時30分から午後6時15分  
【早出】 ①午前7時30分から午後4時15分    ②午前8時00分から午後4時45分

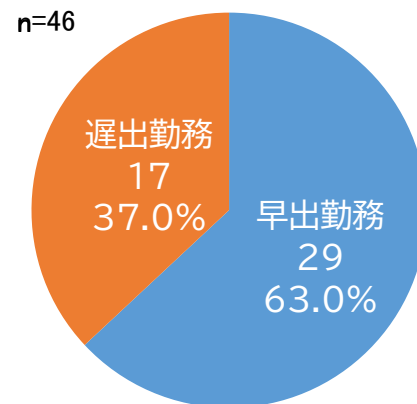
### 3. 宜野湾市の取組みについて

#### (2)『沖縄交通リ・デザインに向けた通勤行動変容実証』アンケート調査結果

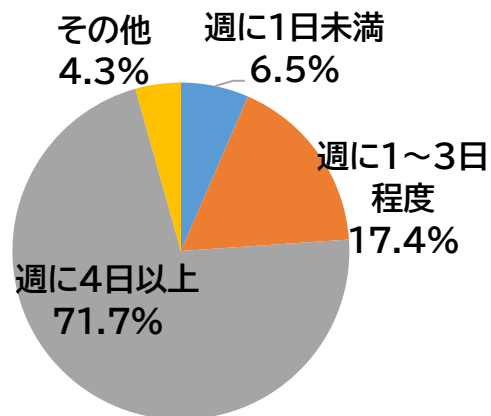
- ✓ アンケートは実証期間(R7.12.1~12.26)の間、早出勤務または遅出勤務を実施した職員を対象(回答者46名)
- ✓ 通勤形態は『早出勤務』が63.0%、『遅出勤務』が37.0%
- ✓ 『週4回以上』遅出または早出を実施した職員は7割以上。
- ✓ 実証に参加した理由として『沖縄の交通事情や普段の働き方について課題を感じているから』、『取組自体に魅力を感じたから』が約6割

➡沖縄の交通事情に関心のある職員は一定数いるのでは？

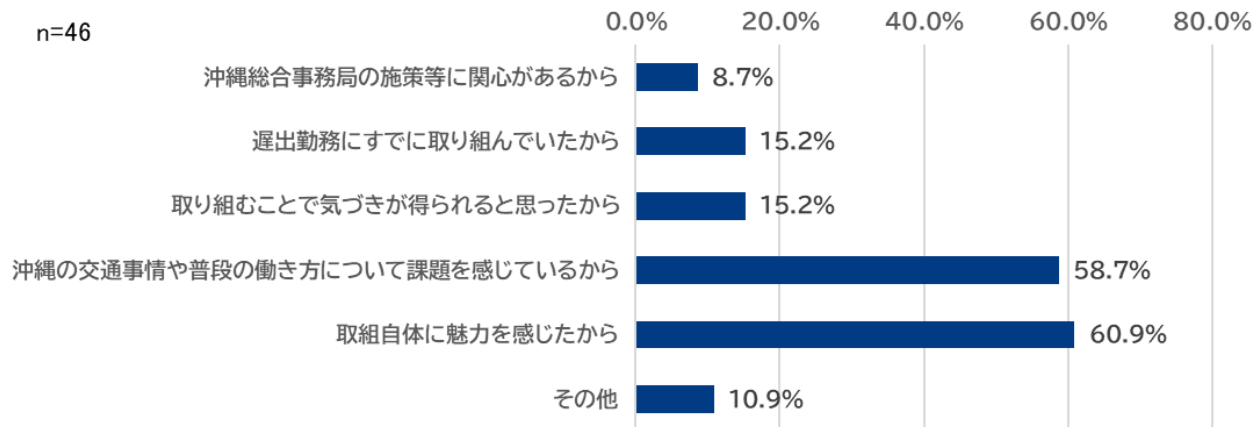
【通勤形態(早出or遅出)】



【週何回実証に参加したのか】



【実証に参加した理由】



### 3. 宜野湾市の取組みについて

**【実証に参加して良かったこと】** 渋滞回避・時間短縮だけでなく、余暇時間の創出・子育て時間の確保・通勤のストレスが低減したといった前向きな意見が寄せられた

- ✓ 渋滞する時間を避けて出勤することができる
- ✓ 混雑の少ない時間の出勤で通勤時間の短縮
- ✓ 帰宅する時間が早まり、自己の時間が有効利用できる
- ✓ 早出出勤の場合、始業時まで人が少ないので自分のペースで集中できた
- ✓ 早出を行うことにより今までギリギリだった子供の迎えが余裕になった

**【実証に参加して大変だったこと】** 業務上の会議や窓口業務との時間調整の難しさや駐車場の混雑等の課題が寄せられた。

- ✓ 時間がバラバラで係、または課全員で行う作業、業務等に支障を及ぼすこともある
- ✓ 他の機関との会議等に出席する際に、勤務時間内に帰庁することが困難であったりと、自分の仕事内容と勤務時間が合わないことが多々見られた
- ✓ 窓口業務が多い部署は閉庁時間まで対応できる人数を揃えておかなければならないため、早出勤務には取り組みにくいのではないかと思います
- ✓ 時差通勤に係る早出遅出の際、入退庁時の上司の確認作業が出来ないことや、他部署依頼の会議時間（早出遅出による就業時間のずれ）の設定が難しい

# 4. 今後の取組方針

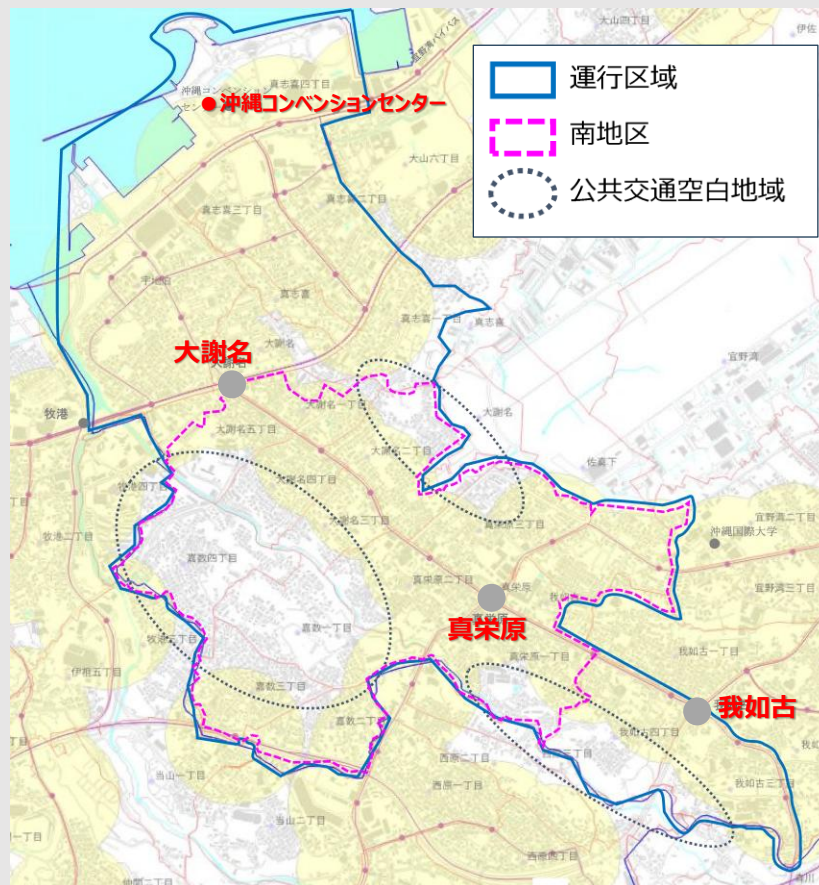
- ✓ 遅出勤務、早出勤務は令和8年3月31日まで試行期間を延長。引き続き、利用者の拡大等も図りつつ、制度利用に関するアンケート調査等(2月実施予定)を踏まえ、令和8年4月の本格運用に向けた検討を進める予定。
- ✓ 関係機関、庁内関係課との連携を図りつつ、公共交通の利用促進に向けた取り組みを継続して実施予定。

## 【参考】オンデマンド実証運行について

- ✓ 本市では新たな交通サービスとして、本市南地区(嘉数地区を中心とした地域)において、オンデマンド実証運行を予定しています。
- ✓ オンデマンドの実証を通じて、路線バスとの連携方策を検討するなど、公共交通の利用促進に向けた取り組みを進める予定です。

### 新たな交通サービスの役割

- ◆ 公共交通空白地域にお住まいの方や高齢者など交通弱者の移動手段を確保し、もって、市民の外出機会の増進や社会活動への参加の促進など健康や豊かな生活を支える。
- ◆ 既存公共交通を補完することで市内の公共交通ネットワークの重層化並びに利便増進を図り、自家用車から公共交通への転換を促進する。



ご清聴ありがとうございました。